

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KIZUNA柴崎教室		公表日		2025年5月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	●道具は常に整理整頓し、十分なスペースをとるよう配慮している。 ●人数を調整して、広々と利用できるよう工夫している。	●高学年など体が大きいクラスは人数の調整や運動メニューなど、怪我や事故につながらないように配慮して支援を行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	●シフトの段階で適切に考えられている。 ●法令で定められている配置人数に加え、理学療法士や作業療法士、心理士など専門的職員も多く配置し、常に3人～5人体制で支援している。	●急な体調不良や感染症、休暇等の際も支援の質が落ちないよう、他事業所からの応援含め対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	●エレベーターは誰でも使用出来るように整備を行っている。点検日を事前にお知らせをしている。 ●トイレや運動スペースの明確化がされている。	●出入口の施錠など子どもの手の届かない場所に設置し安全面の確保に努めている。また開錠操作は指導員が行うことを掲示物で協力を仰いでいる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	●道具は整理整頓し、全ての道具をアルコール消毒している。 ●洗面台の下、トイレには子ども用の足台をセットしている。	●日々の清掃、整理整頓を意識し、心地よく過ごせる環境作りを職員ひとりひとりが心がけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	●個室があるため、クールダウンが必要な場合に使用している。	●面談等で個室を使用している場合には、運動環境に個別のスペースを作るなど工夫をする。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	●職員間で意見を出しやすい環境づくりをしている。 ●業務担当を可視化することで個人の仕事内容の整理を行えるように工夫をしている。	●業務担当を定期的に見直し、職員個人の負担になっていないかなど見直しを行う。 ●他業務の内容を把握出来るような機会を設けていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	●保護者からのご意見、ご要望を反映し職員間で話し合い、改善に努めている。	●今回の自己評価結果を5月中に公表する。 ●今後も保護者からの意向等を把握し、業務改善に努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	●毎日のミーティングの時間に職員間で意見交換を積極的に行っている。 ●職員間で意見を出しやすい環境づくりをしている。	●ミーティングの時間配分を事前に行い話し合いを充実させ日々の業務を効率的に行えるよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	0	●第三者による外部評価は、3年に一度行っている。	●外部評価を共有し、今後のサービス向上に繋げていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	●外部研修や法人内でも様々な研修を受講する機会がある。	●個人で受講した研修を他職員に伝達研修を行うなど職員が日々スキルアップしていける仕組みを整えていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	●ガイドラインの発達の5領域やお子さまの発達段階に合わせ、職員間で話し合い、適切に作成されている。	●事業所ホームページで公開もしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	●お子様や保護者さまがどのようなことに困っているのか、支援すべきことは何かなど、職員間で話し合い、支援計画を作成している。	●今後も保護者さまのニーズやお子さまの課題を適切に分析し、満足感を得られる支援を継続して行っていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	●実際に支援に関わっている職員と児童発達支援管理責任者で入念な話し合いのもと、それぞれの子どもの発達段階に合わせた支援計画を作成している。	●主観的にならないよう、職員全員で5領域を念頭に作成していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	●必ず職員間で支援計画を確認、共有し計画に沿って毎日支援を行っている。	●今後も来所児童全員の前回活動時の様子や配慮事項、プログラムの共有など入念に打ち合わせを必ず行っていく。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	KIZUNA柴崎教室		公表日	2025年5月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		●現在インフォーマル目つフォーマルなツールを使用しているが今後は電子化を検討し業務改善を目指す。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	●ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に則した支援内容の本人支援、家族支援などを踏まえそれぞれの子どもに適切な支援の優先順位をつけて具体的に支援計画を設定している。	●本人支援、家族支援が中心となっており、今後は地域支援について実施方法など検討を行っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	●個別支援計画目標に基づきリードの職員が中心に作成している。作成後全職員に周知している。 ●全員の意見を反映し日々工夫している。	●プログラムの目的や子どもの様子に合わせて、臨機応変に対応できるよう、更にチームで連携を図っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	●様々な運動プログラムを提供し、楽しみながら次の学びへ繋がるよう日々工夫している。	●お子さまの発達や課題に合わせ、苦手意識のあるものも自信へと繋がっていくよう今後も様々な知識やスキルを職員が身に付けていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	●基本は小集団活動を目的としお子さまの様子に合わせて集団、個別と分けてプログラムを提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	●支援開始前に必ずミーティングを行い、前回の活動の様子や配慮事項、プログラムの共有、確認など行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	●支援終了後にも必ず一人ひとりのお子さまの様子を振り返り、次回の支援に繋がるよう記録を残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	●保護者さまにサインを頂く書面に記録を取ると共に、データとしても残している。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	●一人ひとりのお子さまの記録に目を通し、活動時の様子をモニタリングし定期的に適切な支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10	0	●運動を用いて、自立支援及び余暇活動については継続的な支援を行っている。	●地域交流及び創作活動は年1回程度の実施を予定している。要望があれば都度検討をしていく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	●子ども本人の意思を尊重し、自主性を育て、自立に向けた支援に努めている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	●児童発達支援管理責任者と場合によっては指導員も参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	●ご家族を通じて連携している。 ●訪問支援を利用している方については報告書などを通じて共有を行っている。	●今後も必要に応じて適宜連携を取っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	3	●送迎がないので直接のやり取りはしていない。●ご家族を通じて連携している。	●送迎は行っていないが、大きなトラブル発生時等は必要に応じて学校とも情報の共有をしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	●直接のやり取りはないが、移行支援として就学支援シートの作成を行っている。 ●ご家族を通じて連携している。	●ケースに応じて連携を図っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3	●今のところ、放課後等デイサービスを卒業し障害者福祉サービスへ移行したお子さまは居ないが、支援内容の情報を提供できる体制は整っている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KIZUNA柴崎教室	公表日		2025年5月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	●市の巡回相談を利用し、実際にお子さまの様子を見て頂き、頂いたアドバイスを活用しながら支援を行なっている。	●今後も助言やアドバイスを頂ける機会を積極的に設け、日々の支援に活かしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	2	●学童等の集団交流はないがきょうだい児を招いたイベントを実施している。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8	2	●事業所連絡会などに参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	●日々のフィードバック時に、最近の家庭での様子なども伺いながら今後の支援方針について、共通の理解をもたうえて支援にあたっている。	●必要に応じてフィードバック時以外にも随時面談の時間を設けていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	●来所時・フィードバック時にお話を伺ったり、お悩みがあれば対応策などをお伝えしている。また、疑問点や質問があればその場で回答できるよう努めている。 ●必要があれば個別面談を行っている。	●ペアレントトレーニングや研修会等の機会は設けていないので、今後必要に応じて開催を検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	●契約時含め契約書や重要事項説明書の内容について担当が責任をもって丁寧に説明し、運営規程の書類等については、保護者が自由に閲覧できるように、事業所内に掲示している。 ●保護者さまに疑問点や質問があればその場で回答、解消できるよう努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	●保護者さまの意向やニーズはもちろん、お子さまの気持ちや意思も尊重し、一人ひとりにとって最適な支援計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	●放課後等デイサービスの提供すべき支援のねらいに基づき、6か月以内に1回見直し、作成し保護者さまから同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	●毎回のフィードバック時にお悩みや相談をお聞きし、適切な助言を行っている。 ●必要に応じて面談を行っている。	●特に専門的なアドバイスが欲しい保護者さまに関しては必要に応じて各専門職の職員との面談やアドバイスを行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	3		●現時点では保護者会等の開催はないが、保護者同士の相談の機会を設けてほしい等のご相談があった際には検討し開催していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	●苦情が寄せられた場合については職員全員が迅速に対応し、職員間や法人で共有、話し合いのもと、適切に対応できている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	2	●連絡ツールを活用し、行事予定や出欠の連絡などを行っている。	●SNSの活用は現在ないが必要に応じ、検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	●個人情報が記載された書類は鍵付きの棚に保管している。 ●個人情報取り扱いについても保護者の方に説明を行っている。	●PC等からの個人情報へのアクセスはセキュリティ強化を検討していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	●保護者さまの障がい理解度に合わせて説明を行っている。 ●文面だけや口頭だけにならないよう視覚物を用いて意思疎通・情報伝達等を実施している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2	●年に1回ではあるがきょうだい児などを集めたイベントを実施している。	●行事回数や内容について要望があればその都度検討をしていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KIZUNA柴崎教室		公表日		2025年5月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	●事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルは揃っており、保護者さまに周知できるよう事業所内に掲示している。	●より実務に近い環境下での訓練を計画し実施していく。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	●定期的に避難訓練を実施し、実際に災害が発生した際も迅速に対応できるよう取り組んでいる。また、実施時は実施記録を作成している。	●適宜確認を行い、必要に応じて見直しを行っていく。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	●保護者さま記載のシートにより把握している。また必要に応じて聞き取りを行っている。	●状況に変更があった場合には速やかに共有をしていただくように声かけを行っていく。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1	●食べ物の提供はないがアレルギーについても保護者記載のシートにて把握している。 ●毎回確認できるよう個人ファイルにも記載している。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	●日々の支援の中で安全管理、危機管理には職員間で連携を取り、必要な措置を講じている。	●適宜確認を行い、必要に応じて見直しを行っていく。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	●お子さまの安全確保のため、どの様な際にやむを得ず身体拘束を行うかについてなど保護者に十分説明し了解を得ている。		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	●口頭や書類、連絡ツールにて共有を図っている。 ●事例発生時にはその都度記録を残し、全職員で共有するとともに、再発防止の対策を話し合い実践している。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	●東京都の虐待防止研修に参加した職員が、事業所内で共有のため研修を行っている。 ●虐待防止に関わるセルフチェックを全職員に対して定期的実施している。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	●事業所内に身体拘束を行う方針はないが、自傷他害のお子さまがいた場合の対応策やどのような際に身体拘束を行うかは契約時に保護者さまに説明し、対象者がいる場合は個別支援計画に記載する。			